

第15回

子ども安全の日の集い

毎月17日は『子ども安全の日』

平成16年11月に奈良市で発生した小学生女児誘拐殺害事件から15年が経ちました。事件直後より、子どもたちの安全対策が喫緊の課題となり、全国各地で様々な取組が開始されました。この集いは、二度とこのような事件が起こらないことを願い、「地域の子どもは地域で守る」という取組をしている大人の意識を高め合い、また、子どもたちが「自分の命は自分で守る」という「危険予測・回避能力」を身につけるために考え、そして行動するための機会とします。

令和元年

11月17日

日

13:30~15:50

(受付 13:00から)

奈良市大宮町四丁目223-1
奈良市立大宮小学校 体育館

アクセス
近鉄新大宮駅より南方向徒歩3分

第1部 開会行事

13:30~13:50

- ・ 黙祷
- ・ 主催者挨拶
- ・ 来賓挨拶

【テーマ】

『学校・子どもの安全のトランジション』

コーディネーター：奈良学園大学 教授 松井 典夫 氏

①実践報告

『「写真」を通して「危険」について考えよう！

～防犯ブザーを鳴らす前に私たちができること～』

奈良市立大宮小学校

②レクチャーとグループワーク

『子どもの安全を守る取組の在り方

～学校、地域、保護者の役割～』

奈良学園大学 教授 松井 典夫 氏

第2部 実践報告

レクチャー
グループワーク

14:00~15:50

主催
後援

奈良市・奈良市教育委員会

奈良警察署・奈良西警察署・天理警察署・奈良市自治連合会

奈良市少年指導協議会・奈良市PTA連合会・奈良市立学校長会

「なら子ども安全宣言」～私たちにできること～

私たちは、地域の方々、青パトさんや家族に守られて、今こうして安全に生活することができています。

私たち、奈良市の児童生徒は、

- 一、「11月17日」を命の尊さについて考え、安全な生活を送ることの大切さを感じる日とします。
- 一、多くの大人の皆さんに見守られていることへの感謝を忘れず、私たちにできることを考え、行動します。

わたしたちは、小学生として、

- 一、自分の命を自分で守ることができるように、いつも心がけて行動します。
- 一、見守ってくださっているみなさんに感謝し、気持ちをこめてあいさつをします。
- 一、自分たちだけでなく、まわりの人たちもこわい思いや悲しい思いをさせないように、思いやりをもって行動します。

私たちは、中学生として、

- 一、一人一人の命と心を大切に、安全について話し合ったり考えたりする時間を持ちます。
- 一、交通ルールを守り、自分の身は自分で守ることができるように、普段の生活から安全を意識し行動します。
- 一、見守りがあることに感謝し、頼られる立場となるように、地域の行事へ積極的に参加します。

私たちは、高校生として、

- 一、正しく判断し自らの安全を守り、一人一人が周りを思いやってこそ生まれる「安全」に貢献します。
- 一、「守られる側」から「守る側」となるため、交通規範意識を高く持ち、小中学生の模範となります。
- 一、安全を再認識するだけでなくとどまらず、市内の小中高等学校で連携し、安全意識を高める働きかけをします。

平成26年11月17日

「なら子ども安全宣言」作成ワーキンググループ



講師紹介

奈良学園大学 人間教育学部
教授 松井 典夫 (まつい のりお) 氏



1969年生まれ。大阪教育大学大学院教育学研究科(修士課程)卒業 修士(教育学)
大阪府公立小学校教員を経て、乱入殺傷事件で児童8人が犠牲になった大阪教育大学附属池田小学校に2005年から2014年まで勤務。同小の学校安全主任として、「安全科」創設とカリキュラム開発にかかわる。その後、2014年より奈良学園大学で教鞭をとる。

主著 「どうすれば子どもたちのいのちは守れるのか」ミネルヴァ書房 2017年
「ながお先生と考える 学校安全36のナラティブ」(共著)教育出版 2014年
「いのちの教育」(共著)東洋館出版社 2009年

「なら子どもサポートネット」
に登録をお願いします

<http://supportnet.naracity.ed.jp>

〈QRコード〉
QRコードの読み取り機能付きの携帯電話をお使いの方は、右のQRコードを使ってトップ画面にアクセスすることができます。

